

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」笠岡校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 12月 10日		～ 2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援、療育に対する気持ち	担当制を採用することで、支援に対する思いを形にすることができる。	社内や社外の研修への積極的な参加
2	職員それぞれが目的意識を持ちながら支援を考え、実践している点	みんなで利用者へのかかわりを継続的に続けながら実態把握を行うこと	ミーティングや朝礼など実施することでより情報の共有を進めていく
3	訪問支援や連携実施の意識	通所だけでなく様々な視点から支援方法を提案できる仕組みづくりを行っている	職員間での知識や経験の差を埋めるだけの情報共有が行えると良い

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	病院や学校との連携が定期的に実施できていない	相手へのメリットが見えていない。そして、提供できていない。	かかわりの頻度を増やし、知ってもらう。さらに情報開示の方法を増やしていく
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」笠岡校
------	-------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 15

回収数 15

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14			1	・多いくらい。(助かります) ・先生のことが大好きみたいです。	職員数に関わらず、満足いただけるように努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1			・決まりもあっていいと思います。	他者と共有することの意識も持てるように関りや声掛けをしています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				・よく見てくれて、支援をしてくれてうれしいです。	ありがとうございます。今後も、一人ひとりに合わせた個別支援に努めさせていただきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1		2	・とても良いと思います。	ありがとうございます。今後も、一人ひとりに合わせた個別支援に努めさせていただきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	14	1			・とても分析してくれて計画してくれています。	今後も保護者の方と協力し、その子の課題や苦手の原因追及などを行って行きます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1		2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15				・とてもよく考えていると思います。	個別支援ならではの取り組みを今後も提供させていただきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	3	6	・まだ入ったばかりで分かりません。	今後、ご希望をいただいた際は検討させていただきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1		1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	3	4	・まだ入ったばかりで分かりません。	今後、ご希望をいただいた際は検討させていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1		1	・毎回教えていただけてうれしいです。	支援の時間以外でも何かございましたらお気軽にご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	4	6	・まだ入ったばかりで分かりません。	今後、ご希望をいただいた際は検討させていただきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1		1	・いつも相談させてもらっています。	お気づきの点やお困りごとがございましたら、いつでもお話しください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	3	1	4	・ノートに詳しく記入してくれたり、直接教えてくれたりしています。	周知方法に関して、現在検討中です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15				・まだ入ったばかりで分かりません。	今後も取り扱いに注意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2		2	・まだ入ったばかりで分かりません。	周知を徹底してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	2		3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1		3	・まだ入ったばかりで分かりません。	今後も事故が起きないように留意し、起きた際にはマニュアルに従い速やかに対応させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	2			・毎週楽しみにしています。勉強以外でも創作した作品を持って帰ってくれて嬉しそうにしています。 ・ずっと楽しくしています。先生も優しいです。	ありがとうございます。これからもお子さまの「できた」につながる支援を提供できるように努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				・ペンを持つのすら嫌がっていた我が子が自らペンをもち書いていた姿に感動しました。とても満足で先生方には感謝しかありません。 ・とても満足しています。	ありがとうございます。これからも満足いただける支援が提供できるように、さらに邁進させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」笠岡校		公表日		2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		理想はスペースにもう少し広さが欲しいが、利用の時間の調整で対応できている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		ミーティング時に利用者や職員の配置を踏まえ、支援内容や利用者の状態に応じた対応を調整できている。 複数人体制で子どもが見れる点が良いと思う。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>		バリアフリー化はされていない トイレの段差や流し台が高いなど適切とは言えない箇所もあるが、職員が利用者に合わせて足台の準備をする、補助をするなど対応が行われている。 バリアフリーがないため。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		活動に応じて配置を変更することができているように感じる 毎朝の掃除や、都度動線や配置、危険箇所などの気づきの共有を行い環境の改善に努めている。	室内での活動を行う時に工夫は必要である	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		その子の特性や支援内容に合わせて、部屋やレイアウトの変更を柔軟に行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎日の朝礼やミーティングを通して行うことができている 月2回のミーティングや毎日の朝礼が良い。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年行っている。また、内容を踏まえて職員全体で協議を行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		朝礼や定期のミーティングだけでなく、日常業務の中でも頻回に意見や気づきの共有が行えており、業務改善に繋がっている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		毎月、発達支援研究所による研修があり、またそれ以外にも社内研修や外部研修に参加する機会が多く設けられている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>		作成はされているが、公表はあまりされていないように感じる 公表はあまりされていないと思う。 公表はされていない	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントに力を入れており、また潜在的なニーズを引き出せるよう面談時の受け答え時の伝え方や態度も意識できている。	支援計画を作成していない。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		事業所全体で子どもの理解する空気感であり、個々の気づきも計画に反映がされている。		

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画を踏まえ、その子に合わせた個別支援が提供されている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールを用い、職員間での気づきの共有なども行いながら、子どもの変化や成長を踏まえて日々の支援を提供している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個々に合わせた支援を、必要な各視点から検討し設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	職員間で共有や振り返りを行いながら、事業所全体での支援提供を行っている。迷った時には相談できる環境下にある。	相談することもあるが、個々で立案することが多いと感じる 個々に行っている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		都度の支援の中での気づき、本人の困り感や保護者の相談などを踏まえて支援プログラムを毎時間検討できている。	利用者の実態に応じて考えているため意図的に固定化する場合もある 固定化する場合もある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別のニーズが強くなり多くの集団活動は行っていないが、必要に応じて小集団での対応を行うことがある。	個別の活動がメインになってしまう。 時間帯などに応じて行っている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日の朝礼で職員の動きを確認することができている 朝礼や定期のミーティングだけでなく、日常業務の中でも頻回に意見や気づきの共有が行えている。 日々の朝礼で確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		翌日の朝礼で振り返りを行うことができている 直後ではないが、次回の支援までに共有や振り返りなどを行っている。 朝礼時に前日の振り返り・反省を行い、対応策をみんなで話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録や気づきのメモなど、各々が支援の改善意識が高く、工夫されている。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		その子の状態や発達段階に応じた内容に見直し、更新がなされている。		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○	児童発達支援管理責任者とメインの担当者が一緒に参加している。	参加したことがない。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		連携の体制も整えており、積極的に行っている。		
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要により、行っている。また、園からの見学や相談も受け入れている。	すべての利用者の保育所へ共有等できていないため。	

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要により、行っている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協会会なども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて行っている。	なかなか機会がない。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		保育所へ見学する際に、こどもたちと関わる機会がある。	地域交流に関しては個別のニーズが強く、感染症のリスクの観点からも行えていないため、今後検討をしていく。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援の内容、こどもの事業所での様子を伝えるとともに、家庭での様子の聞き取りを行うことができている 支援後のフィードバックや必要に応じ電話や手紙でのやり取りを行っている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		研修という形では行えていないが、都度のフィードバック時や面談、電話でのやり取りや支援への見学・参加などを通して保護者へのアプローチも行っている。	自分が家族支援プログラムは行えていない。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		理解の確認を間に行いながら、丁寧な説明がなされている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		本人や家族の意向を踏まえた上での計画の作成を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画の内容や今後の支援の展望をしっかりとお伝えしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時、電話や面談での相談を受け付けている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			自分はしたことがない 保護者会などは行えていないため、検討していく。兄弟間に関しては、必要に応じ、行っている。 保護者会を開催はなかったように思うため。きょうだいのみ行った事がある
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		内容を問わず、相談や申し入れがあれば、電話での対応や、時間調整による面談対応を行っている。	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月のブログ更新や掲示を行っている。	周知されているか不明	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		利用者の目に触れる箇所に個人情報が置かれないように、職員全体で注意している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		相手に応じた対応を工夫している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		招待する機会がない 個別のニーズが強く、感染症のリスクの観点からも行えていないため、今後検討をしていく。 招待する機会を設けた事がない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	玄関に掲示されており、避難訓練は毎月行っている。	家族に周知することはできていないと感じる 周知できるようにはしているが見えていない所も多い
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの作成と備蓄が完備されており、避難訓練は毎月行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントの際や、都度の聞き取りに寄り把握に努めている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食事提供がない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		作成されている。また、日々の業務の中で改善の意識を持っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		玄関に掲示されており、必要に応じて協力要請を行っている。	周知はされていない可能性が高い
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		作成し、共有が行われている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修が定期で行われており、また他職員が気づけるように開かれた支援が行われている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		説明と記載がある。	